



## 動物とふれあい癒しのひととき！

10月2日(火)に平成24年度移動動物ふれあい教室を実施しました。

場所は気仙沼市立小原木保育園で行い、小原木保育園、中才保育所、くぐり保育所の子ども達計38人が参加しました。

子ども達は、動物愛護センターの職員から、動物のふれ方や注意することを聞いた後、子犬8頭、モルモット8匹、ウサギ8羽とふれあい、



動物愛護と命の大切さを学びました。



最後に、消毒剤の使い方の説明を受けて、手を洗い、記念撮影をしました。

## 快適な生活環境への第1歩!

～気仙沼市し尿処理場が完成～

気仙沼市し尿処理場が完成し、10月29日(月)落成式が行われました。

工事は平成21年12月から始まり、途中、震災による中止期間もありましたが、10月15日に完成しました。

処理場では、し尿と浄化槽汚泥の前処理を行い下水道へ放流します。



### 施設の概要

処理能力：110 kl/日  
 内訳  
 し尿 69 kl/日  
 浄化槽汚泥 41 kl/日  
 放流量：  
 1,000 m<sup>3</sup>/日以下  
 敷地面積：  
 5,526.17 m<sup>2</sup>  
 建築面積：  
 757.29 m<sup>2</sup>  
 延床面積：  
 1,350.83 m<sup>2</sup>



## パーソン・センタード・ケアを学びました!

10月11日(木)第2回 認知症ケア向上研修会『パーソン・センタード・ケアについて知る』を開催しました。

第1部は、『パーソン・センタード・ケア ～認知症という事態を生きる人を知る～』と題して、宮城県認知症疾患医療センターである三峰病院の遠藤主任から講演を頂きました。

認知症の症状をもたらす、「脳の病気」「元々の性格」「生活の歴史」「健康状態・感覚機能」「過去の社会との関わり方」の5つの要素が影響しており、「その人は、どうして欲しいのか。どのような不安を抱えているのか。」と、その人を中心に考えるケアが大切なこと。「幻覚」「妄想」「不眠」「興奮・攻撃」「夜間せん妄」「夕暮れ症候群」「徘徊」「拒否」の8つの『対応に戸惑う症状』について、その人の気持ちに焦点をあてて対応例のポイントについて説明して頂きました。



第2部は、『パーソン・センタード・ケアの実践「事例を通してパーソン・センタード・ケアを考える」』というテーマで、グループワークを行いました。



2つの事例について、熱のこ

もったロールプレイを実演して頂きました。

第3回認知症ケア向上研修会は11月29日(木)に開催されます



## 理・美容所を対象に衛生消毒研修会

10月22日衛生消毒講習会が開催され、午前には宮城県理容生活衛生同業組合気仙沼支部及び南三陸支部に所属する理容所から60名が、午後からは宮城県美容業生活衛生同業組合気仙沼支部及び南三陸支部に所属する美容所から62名が講習会に参加しました。

基本的な衛生対策や消毒法、結核予防などについて講義が行われた他に、午前の部では、ゲートキーパー養成研修も受講してもらいました。ゲートキーパーとは自殺対策として内閣府が推進しているもので、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人。言わば「命の門番」とも位置付けられる人です。



また、午後の部では保健所長による「気仙沼地域の公衆衛生」の講話があり、気仙沼地域復興のための心構えについて参加者らの心に訴えました。

※このコーナーの挿絵は、内閣府のゲートキーパー養成研修のキャラクターです。



# 復興に奮闘!

【気仙沼市マザーズホーム】  
(児童発達支援事業所)

今回は、気仙沼市マザーズホームの内海園長にお話を伺いました。

気仙沼市マザーズホームは、9月11日に落成式が行われましたが、児童の受入は10月26日から開始となりました。

幼児の支援は9:30~14:00で、小学生は、15:00~18:30の放課後デイサービスを実施しています。

幼児については、母子での参加で、児童の発達支援はもちろん、お母さんにも勉強してもらい、相互作用でより良い関係が築かれ、子どもの成長に繋がっています。また、スタッフもどうすれば伝わるかを子ども達一人ひとりに合わせて日々工夫することで、スキルアップに繋がっていて、今では児童がパニックになることもなくなってきました。



施設の理念としては『明るく、元気に、楽しく!』で、遊びを通して「おもしろい」と思ってもらい、それがやる気に繋がります。行動が自信に、そして積極性にと育って欲しい。

また、様々な行動から『ダメ』と言われることが多い子ども達も、ここではス

ッキリと褒められる。そういう支援が日常に広がっていくようにと思っています。

お母さんには『元気、のんき、根気』と伝えています。なんとと言っても、子どもの成長には、お母さんが元気なことが一番で、そのためには焦らず根気強く見守って欲しいと思います。

震災で、多くを失いましたが、逆に今までになかった繋がりがもてたし、多くの支援も頂きました。本当に感謝しています!

## 仮設住宅を栄養相談会で訪問しています!

気仙沼管内栄養士会の皆さんは、今年度16回の栄養相談会を計画しており、仮設住宅を訪問しています。

栄養相談会では、普段の食事の様子を聞き取りして不足していると思われる栄養素を補える工夫や、塩分摂取を減らす味付けの紹介など、実際においしく調理して食べながら指導しています。

写真は、9月14日(金)に、西八幡前仮設住宅の談



話室で行われた栄養相談会の様子です。

黒酢やレモンをきかせた野菜たっぷりの「塩焼きそば」と「フルーツヨーグルト」の調理を実習した後、塩分濃度の違う味噌汁を飲み比べて野菜摂取や減塩の大切さを学びました。



## がん市民講座が開催されました!

9月29日(土)に、気仙沼市立病院と共催で『がん市民講座 ~がんと向き合う~』が開催されました。

講座は2部構成で、第1部は『自宅で簡単リハビリ』と題して千葉県立保健医療大学健康科学部准教授 安部能成氏の講演を行い、第2部は、安部准教授を座長に、シンポジスト4人を迎え『その人らしく生きるために』をテーマにシンポジウムを行いました。



気仙沼市立本吉病院の川島院長からは「がんに限らず病気よりも人を診て、家庭医として未永いお付き合いを大切に頑張っている。医者だけでは対応が難しく、地域連携が大事。」

南三陸訪問看護ステーション千葉主任からは「現在132人に訪問看護をしている。事前の説明が大切で、その人の想いを大切に看護にあたっている。」

ひなたぼっこ三浦管理者からは2名の在宅療養事例を紹介があり「24時間いつでも連絡をくれてかまわないという川島院長の言葉に家族ともども安堵を覚えた。」

気仙沼市立病院 地域医療連携室の阿部看護師からは5人の退院調整事例の紹介があり「なんでも繋ぐ何でも相談所でありたい。」などと、それぞれの想いのこもった発表があり、参加者からも「とても良かった。」との声が多数寄せられました。

ふかひれさんの

## 感染症予防講座



今回は、『インフルエンザ』の予防です!

インフルエンザはどうやって感染する?

- 飛沫感染  
感染した人の咳など飛沫の中にあるウイルスを口や鼻から吸い込むことによって感染します。
- 接触感染  
ウイルスが付着した手で鼻や口に触れることでウイルスが体内に入り感染します。

予防のポイント!

- 手洗いをしましょう。
- うがいをしましょう。
- 栄養と睡眠を十分にとって、抵抗力を高めましょう。
- 適度な湿度(50~60%)を保ちましょう。
- 流行前に予防接種をして、発病や重症化を予防しましょう。

咳エチケットを守りましょう!

- 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュなどで口と鼻を覆い、他人から顔を背けて1m以上離れましょう。
- 使用したティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てて手を洗いましょう。
- 咳をしている場合は、マスクを着用しましょう。

## 編集後記

めっきり寒くなりましたね。長かった夏の暑さが、やっと涼しくなって、夏の疲れが出てきたと思ったら、急に寒くなり体調を崩している人も多いのではないのでしょうか?

今月は『ふかひれさんのマニアック食中毒予防講座』をお休みして『感染症予防講座』となっています。

うつろな目にマスクをつけた『ふかひれさん』、熱っぽいのか、色も若干濃くなっています。みなさんも体調管理にご注意くださいね。

